

両丹支部定時制通信制事務局

主任理事 松本 朗

網野高等学校間人分校

《総括》

平成 29 年度は中道支部長のもと新たな体制で各事業を展開してまいりました。多くの皆様の御支援、御協力をいただき年間行事を終了することができました。

2 年後の東京オリンピックを控え、今後ますます日本のスポーツ界が盛り上がりを見せ、高校スポーツも活気づくことと思います。

来年度は京都府で近畿高等学校定時制通信制体育大会が開催されます。地元、京都府選手並びに両丹支部生徒の活躍をおおいに期待しています。

9 月の両丹総体では昨年度と同様にソフトバレーボール、卓球、バドミントンの 3 種目を開催し、熱戦が繰り広げられました。

近年、団体種目が成立しない中、1 月に開催されましたバスケットボール冬季大会に両丹支部から東舞鶴高校・網野高校から男子 1 チームずつが参加したことはうれしいニュースとなりました。来年度は全国大会予選から出場されることを期待したいところです。

主な大会成績または出場状況は以下の通りです。

夏の全国高等学校定時制通信制体育大会には、両丹地区の高校からは 4 競技（陸上競技・バドミントン・卓球・ソフトテニス）5 校延べ 17 名と昨年より 1 校少なくなりましたが、1 競技、2 名多く参加しました。（網野高校延べ 9 名・綾部高校 3 名・宮津高校 2 名・東舞鶴高校 2 名・西舞鶴高校 1 名）

全国大会の入賞は卓球男子にて東舞鶴高校団体 5 位、陸上競技男子は網野高校の西村博喜が 800m 6 位、女子は網野高校の松田美咲が砲丸投げ 7 位、西舞鶴高校の松下菜由が走り幅跳び 8 位と良い成績を残しました。

他の競技や種目では 1・2 回戦の突破がなかなか難しい状況でしたが京都代表としてしっかり戦ってくれました。

9 月には第 68 回両丹高等学校定時制通信制総合体育大会が開催されました。昨年からのソフトテニスを参加数減により廃止し、ソフトボールも参加チームがなく昨年同様に実施できませんでした。

実施種目は室内種目のバドミントン、卓球、そして実施 2 年目のソフトバレーボール 3 種目を実施しました。

実施状況はバドミントン（団体・トーナメント戦）男子 15 チーム、女子 9 チームの参加、卓球（個人シングル・トーナメント戦）男子 35 名、女子 18 名のエントリー、ソフトバレーボール（予選リーグの後決勝、3 位決定戦）男女混合 8 チームの参加がありました。専門部で試合方法等を工夫していただき、多くの生徒が楽しくいきいきと競技ができました。

また学校以外の施設を使用しての実施も 3 年目となり、当番校も一巡したことから、学校施設での開催に戻すか、今後も学校以外の施設で実施するかを検討しましたが、準備運営面、大会の盛り上がり等から来年度以降も学校以外の施設で実施することとなりました。

ここ数年、総体で開催できなくなったバスケットボール、バレーボールに加え、ソフトボールも開催できずチームゲームが実施できなくなってきたことは残念なことです。しばらくは今回実施の 3 種目での開催になるのではないかとと思われます。

試合結果は下記の一覧表です。

《大会成績》

第 68 回両丹高等学校定時制通信制総合体育大会

期 日：平成 29 年 9 月 16 日（土）

会 場：舞鶴文化公園体育館

種 目：ソフトバレーボール・卓球・バドミントン

成績一覧

種目	順位	優勝	準優勝	3 位	3 位
ソフトバレーボール	男女	共栄高校	綾部高校	宮津高校 1	宮津高校 4
卓 球	男子	山口駿太郎 (綾部)	吉田慶弥 (綾部)	西村浩一 (網野)	小田涼太 (宮津)
	女子	大江 冨香 (網野)	鳴畑依美莉 (網野)	田路結希 (福知山)	小西優奈 (網野)
バドミントン	男子	東舞鶴高校 1	西舞鶴高校 1	網野高校 1	網野高校 2
	女子	綾部高校	福知山高校 4	福知山高校 5	福知山高校 2

\* 文中の網野高校は間人分校、西舞鶴高校は通信制、東舞鶴高校は浮島分校、福知山高校は三和分校、宮津高校は伊根分校、綾部高校は東分校（夜間定時制）、共栄高校は京都共栄学園高校を示す。

11 月～12 月には兵庫県において第 53 回近畿高等学校定時制通信制体育大会が開催されました。

両丹地区の高校から 4 競技（ソフトテニス・バドミントン・陸上競技・卓球）に出場しました。

近畿大会の入賞はソフトテニスでは女子団体で京都選抜が 4 位、バドミントン男子団体では東舞鶴高校・網野高校の 2 校がベスト 8、陸上競技男子では網野高校の吉田翔哉が走り幅跳び優勝、西舞鶴高校の田中梓二が 3000mSC 3 位、網野高等の山下恵佑が 400m 6 位、女子では西舞鶴高校の松下菜由が走り幅跳び 2 位、卓球では男子団体で綾部高校・宮津高校がベスト 8、男子個人で綾部高校の山口駿太郎がベスト 8 と活躍しました。

次年度の京都での大会では更なる活躍を期待します。

春の両丹大会や京都大会、真夏の全国大会、秋の両丹総体や近畿大会における生徒たちの活躍は目を見張るものがあり、多くの生徒が大きな感動を得ることができました。競技運営や引率等で御苦勞をいただいた先生方には深く感謝いたします。

毎日の部活動に目標を持って取り組んでいる生徒や他校との交流を楽しみにしている生徒もおります、部活動の活性化や各大会の充実など各方面で今後ともご協力をお願いいたします。